
研究集会のお知らせ

日本カリキュラム学会 代表理事:松下 佳代
研究委員会委員長:子安 潤

テーマ:

高校における探究科目の導入と課題

趣旨:

2018年3月に高校学習指導要領の答申が発表され「考え判断する教育」への転換の一環として、「理数探究」「日本史探究」「世界史探究」「総合的な探究の時間」など、探究をキーワードとした科目が導入される。それらの科目をカリキュラムにどう位置づけるのか、各探究科目の内容や指導方法、生徒に意味ある探究学習は何かなど、課題が山積している。導入に向けての課題を整理し、探究科目に関する考え方や、実施している高校での実践内容・工夫・課題を聞きながら、カリキュラム創造の方向を考え合うことを目的に研究会を開催する。

日時: 2018年3月18日(日) 14時~17時(受付 13時30分~)

場所: お茶の水女子大学 共通講義棟1号館301室

報告者:

石川 久美氏 (名古屋大学教育学部附属中・高等学校)

「SSH 課題研究を通して他者と協同して探究し続ける生徒を育てる」

坂井 俊樹氏 (開智国際大学教育学部)

『歴史総合』の検討を中心にして(仮)」

玉谷 直子氏 (お茶の水女子大学附属高校)

「SGHにおける探究活動」

林 尚子氏 (和光学園高校)

「選択科目『農と地域』における生徒の探究と体験(仮)」

趣旨説明:

高橋 亜希子 (南山大学)

司会:

子安 潤 (中部大学)